

NO. 41	キャンドルファイヤー (CDF)
--------	------------------

1 ねらい

ろうそくの炎を囲みながら活動することを通して、仲間と過ごす楽しさを味わい、集団の中で協力することの大切さを学ぶと共に、思い出づくりを図り、友情を深める。

2 活動の計画

- (1) 活動期間 通年
- (2) 所要時間 60分～90分
- (3) 人数 何人でも
- (4) 活動場所 体育館, 多目的ホール
- (5) 準備物

〔自然ふれあい館〕	〔利用団体〕
<ul style="list-style-type: none"> ・ 燭台 3 種類 (切り株型, 柄つき, 個人用) ・ 燭台 (切株型) 用シート ・ 衣装 (上下, 冠) ・ アンプ, マイク ・ CD カセットデッキ ・ 延長コード 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ろうそく ・ スタンツ用小道具 <p>* ろうそくはふれあい館でも購入可能 CDF セット (中型ろうそく×20, 小型ろうそく×20,) : 1,000 円/式 中型ろうそく : 30 円/本 小型ろうそく : 20 円/本</p>

(6) 主な係 (例)

—係—

- ・ 会場係・・・会場設定, 燭台やろうそくの準備・片付け
- ・ 誘導係・・・火の神, 火の子の誘導や配置, 衣装の準備・片付け
- ・ 効果係・・・マイク, テープ, 伴奏, 照明等の担当
- ・ 出し物係・・・事前に準備させておく。同じ種類のものに偏らないように配慮する。
- ・ 進行係・・・会の進行, 儀式の部とスタンツの部に分けてもよい。

—役割—

- ・ 営火長・・・団体のリーダー, 全体運営
- ・ 火の神・・・点火の言葉
- ・ 火の子・・・グループの代表, 誓いの言葉



燭台 切株型

3 活動上の留意点

- ① 音楽や照明を効果的に使って雰囲気作りをするとよいです。
- ② 展開例は様々あり, 集団の構成や野外活動の目的に合わせて工夫できます。
- ③ 会場を暗くしたときの安全を配慮し, 熱いろうそくにも気をつけてください。
 - * 参加者の燭台は, 手に持つものではなく, 床に置いておくものです。
 - * 中央の切り株に立てたろうそくのろうが床にたれて汚れたり, 滑ったりしないようにシートを使ってください。
- ④ 活動後は団体で清掃を行ってください。

4 展開例

プログラム	係	内 容
1. 入場 (照明は暗く)	全 員	①静かに入場し、燭台を中心とした円を作り座る。
2. 夜の歌	全 員	②「遠き山に日は落ちて」などを歌う。 1番は合唱, 2番はハミング
3. 火の神 火の子登場	火の神 火の子	③ハミングが始まったら、火の神はトーチをかかげて火の子を従えて入場し、場内を一巡してから所定の位置につく。
4. 点火の言葉	火の神	④手持ち燭台をかかげておごそかに述べる。
5. 分火	火の神 火の子	⑤火の神から火の子の燭台に分火する。
6. 誓いの言葉	火の子	⑥火の神から分火された後、燭台をかかげて述べる。
7. 点火	火の神 火の子	⑦中央の燭台と参加者の燭台に点火する。
8. 炎の歌	全 員	⑧「燃えろよ燃えろ」をおごそかに歌う。(ハミング等)
9. スタンプ (照明は明るく)	全 員	⑨班ごとに演技する。 ・割り当て時間を事前に示して、全体が楽しめるように進行する。 ・合間に全員参加のゲームなども入れ、盛り上げる。 ・演技者に対して拍手するなど、なごやかな雰囲気の中で進むようにする。
10. 営火長の言葉	営火長	⑩キャンドルファイヤーをふりかえって ・営火の意義について ・野外活動や団体活動について (規律・協同・友愛・奉仕等の掲示あり)
11. わかれの歌	全 員	⑪「今日の日はさようなら」を歌う。 歌の途中からハミングにしてもよい。
12. 退場	全 員	⑫静かに退場する。歌いながら、またはハミングしながらの退場でもよい。